# 相続おしかけ講座の実施方法の見直しについて 【報告書】

## 1 目的

平成 30 年度に企画し今年度 6 月から開始した「相続おしかけ講座」について、参加者や申込者のアンケート結果、講師、各士会、市町村及び県の意見を踏まえ、講座の開催に係る事務やテキスト等について検討し、見直しを行う。また、今後の展開についても検討を行う。

## 2 取組

### （1）経過

・平成３０年度　専門部会により講座を企画（テキスト作成、試行講座の実施等）
・４月２６日　　市町村説明会（事務の流れの説明、デモ講座の実施）
・６月　１日～　申込受付開始
・７月２２日、１２月１９日　　専門部会開催

### （2）広報等

① 県の取組

| | |
|---|---|
| 空き家関係 | 国交省、全国空き家対策推進協議会 |
| 福祉関係 | 県地域包括ケア課(地域包括支援センター):チラシ送付＆研修会で宣伝５回<br>埼玉県社会福祉協議会(市町村社協)：チラシ送付<br>埼玉県老人福祉施設協議会(社会福祉法人)：チラシ送付<br>さいたま市内地域包括支援センターへ飛び込み営業 |
| 報道 | テレビ放映：ＮＨＫ(9 月)、テレビ埼玉(9 月)<br>新聞紙面：朝日新聞(5 月、9 月(2 回))、埼玉新聞（9 月)、<br>東京新聞(12 月)、埼玉建設新聞(1 月) |
| その他 | 知事定例会見（1 月 21 日）<br>随時見学会の開催（会議構成員、報道等向け）<br>他都道府県からの問合せ対応（東京都、千葉県、岡山県、静岡県、札幌市） |

② 市町村の取組

| |
|---|
| ・市内全行政区（260）の区長へ依頼　⇒16 団体から申込み |
| ・自治会長宛に文書で周知　⇒7 団体から申込み |
| ・福祉、市民活動の所管課や関係団体、行政センターを通じた市民団体への周知 |
| ・自治会長向けのセミナーや市社会福祉協議会担当者に説明 |
| ・ローカルテレビの取材・放送等 |
| ・民生委員の担当課への情報提供 |

## 3　講座の実績　（令和元年６月～12 月末時点：７か月）

### （１）申込

申込件数　115 件　　参加者　約 4,100 人（申込ベース）

＜内訳＞

○　申込主体別

| 申込主体 | 件数 |
|---|---|
| 自治会等 | 50 |
| 地域包括支援センター | 25 |
| 社会福祉協議会 | 15 |
| 公民館 | 5 |
| 社会福祉法人 | 4 |
| その他 | 16 |

※参加者（受講者）
高齢者　　98 件
介護職員等　17 件

○　市町村別

久喜市　１６件、さいたま市　１４件、川越市　１４件

### （２）アンケート集計結果　（開催 75 件　1,918 人分）

①　参加者

| 男女比 | | |
|---|---|---|
| 男性 | 700 人 | 36% |
| 女性 | 1,218 人 | 64% |

| 世代別 | | |
|---|---|---|
| 30 代以下 | 23 人 | 1% |
| 40 代 | 52 人 | 3% |
| 50 代 | 90 人 | 5% |
| 60 代 | 357 人 | 19% |
| 70 代 | 877 人 | 46% |
| 80 代以上 | 383 人 | 20% |

②　アンケート

・今後の役に立ちそう　　89%
・相続対策を始めようと思った　　82%
・講座時間の長さ満足度　45 分：79%　　60 分：96%　　75 分：81%

③　感想

・遺言は大事だと思いました。備えておくことの重要性を感じました。
・相続は、司法書士や行政書士に相談すれば良いことが分かりました。
・実際の事例が多く聞け、相続手続きが大切で身近なことだと感じました。早速対策をしたいと思います。
・認知症になったら何も進まないことが分かりました。主人は 7 年前に亡くなっているので、息子と話し、健康なうちに準備しようと思いました。
・対話形式の講演が非常に良い。また開催して欲しい。
・ケアマネをしているが、相談されることもあるため、参考になった。
・特養の入居者家族向けの開催等も検討したい（特別養護老人ホーム運営者）。

## 4　講座の開催に係る事務及びテキスト等の見直し

参加者や申込者アンケートからの意見、講師、各士会、市町村及び県の意見を踏まえ、講座の開催に係る事務及びテキスト等の見直しを行う。

### （1）講座の実施に係る事務

| | 見直し前 | 見直し後（案） |
|---|---|---|
| ①　申込 | | |
| 申込期限 | 2 か月前 | 1 か月前 |
| 講師決定の連絡 | 1～2 週間 | 2～3 週間 |
| ②　講座の実施 | | |
| 講座時間 | 45 分、60 分、75 分 | 60 分、75 分、その他 |
| ホワイトボード | ― | 申込書に「有無」欄追加 |
| マイク | ― | 申込書に「用意お願い」追加 |
| 講師との事前調整 | 個別対応 | 講師一覧の作成 |
| ③　講座の終了後 | | |
| 参加者アンケート | 原本を県へ送付 | 集計票のみ県へ送付（ﾃﾞｰﾀ） |
| アンケートの設問 | ― | 「もっと知りたいと思った内容はありましたか（複数選択可）①遺言書、②後見制度、③家族への信託」 |

### （2）テキスト

・遺言書の例のシート追加。

※任意後見や家族への信託などの内容拡充を望む意見もありましたが、現状でも資料が多く、個別に専門家へ相談してもらうことを促す目的から、内容の拡充は行わない。

・その他、講師を中心に文言整理等。

### （3）その他

・講座後の相談につながりやすくするため、地元の方を講師にお願いしたい。

⇒　今年度の状況を踏まえ、各士会において講師の体制を検討いただいています。

・具体的な手続き方法を学べる講座があると良い。

⇒　各士会で個別に対応可能。

・高齢の方だけでなく、40 代、50 代が参加できる場があると良い。

⇒　企業の社員研修、ＰＴＡの会合などでの開催を検討していきます。

１/２３　ポラス㈱（埼玉県住まいづくり協議会会員）　社員研修で実施

・介護や看護の現場では、認知症になっている方の御家族など、既に問題が発生しているケースがあります。そのような方たち向けにも必要な講座と考えます。

⇒　講座は“備え”をベースとした内容ですが、既に問題を抱えている方もいると思われる特別養護老人ホームの家族会などでの開催も、積極的に働きかけていく。

## 5　今後の取組

**（１）これまでの講座を継続実施**　　※予算調整中のため未確定。

・さらなる周知・広報活動（県、市町村、埼玉司法書士会、埼玉県行政書士会）

・講師体制の充実

**（２）現役世代への講座の展開**

・企業研修での開催（住まいづくり協議会会員）等